

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会
令和2年度事業報告書
(令和2年4月1日より令和3年3月31日まで)

I 公益事業

1、クラシック音楽普及事業（定款第4条第1号関係）

(1) コンサート情報アプリ「チラシクラシック」の運営

クラシック音楽の普及と新規顧客開拓に向けた新規広報ツール、スマートフォン向けのコンサート情報アプリ「チラシクラシック」については、運営事務局を賛助会員のイープラス社内に置き運営を行っている。令和2年度の運営概要報告は以下のとおり。

※事業名 チラシクラシック

対象期間	令和2年4月～令和3年3月までの一年間の運営報告（開始 平成30年10月25日）
運営主体	日本クラシック音楽事業協会
運営事務局	チラシクラシック運営事務局（株式会社イープラス内に設置）
内容	観客の高齢化が進むクラシック界において、新たなる観客（特にライト層や若年等）に向けた情報提供活動として、いつでもスマートフォンから全国で実施されるクラシックコンサートのチラシが無料で閲覧できるサービス。 <ul style="list-style-type: none">・ インストール数：8,613(+894) (対前年比:1.11)・ 掲載チラシ総数：950 (対前年比:0.64)・ 主催者数：105 団体/122 名 (対前年比 0.39/0.44)・ 1日当りの掲載公演数：2,04 (対前年比:0.35)・ 平均チラシ掲載期間：25,67 日 (対前年比 0.75)・ セッション数：20,620 (アプリの起動数) (対前年比:0.52)・ スクリーン数：198,123 (画面数) (対前年比:0.45)・ セッション別：9,61 (1回平均画面数) (対前年比:0.86)・ 平均セッション時間：02分58秒 (1回あたりの利用時間) (対前年比:49.2秒)

(2) 「スマイル&ハーモニーキャンペーン」の準備

クラシックコンサートの鑑賞マナー向上に向けて、協会で作成したマナー向上のハンドブックを活用して「スマイル&ハーモニーキャンペーン」については、新型コロナウイルス感染症により従来のような公演活動が当面見通しが立たない事から、今後の状況を踏まえ検討することとした。

(3) 屋外でのクラシックフェスティバルへの協力は、新型コロナウイルス感染症の影響で、該当フェスティバルが実施されなかった。

(4) クラシック・アワード(仮称)の創設に向けてワーキンググループの立ち上げについては、新型コロナウイルス感染症の影響で、次年度に持ち越しとなった。

2、音楽関連人材育成事業（定款第4条第1号関係）

(1) 会員研修会、経営懇談会、シンポジウムについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、会員各位の公演活動の再開に傾注する為、今年は開催しなかった。尚、5(2)に記載の協力活動における研修会及びシンポジウムについて会員各位に参加を呼びかけて協力開催した。

(2) クラシック音楽業界における公演中止や延期、キャンセル対応等の事例を取りまとめた「ガイドライン」

の策定については、新型コロナウイルス感染症の影響により策定できなかったものの、今後のコロナ禍以降における感染症での中止延期やキャンセル対応事例等も法制度との関係性を踏まえて、然るべきタイミングで策定する方針である。

3、アーティスト連携事業（定款第4条第1号関係）

(1) 地域創造連携事業

○公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）

一般財団法人地域創造の実施する公共ホール音楽活性化事業に制作協力して、全国の公共ホールに於けるクラシック音楽の普及と地域音楽文化の活性化を促進する為、同財団からの受託事業として、登録演奏家のプレゼンテーションを受託している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、プレゼンテーションの代わりに映像資料の作成を受託した。

※令和2年度公共ホール音楽活性化事業（全国6地域〈発展継続プログラム含〉で実施）

※令和2年度登録アーティストによる映像資料

6組（7名）の登録アーティストによる映像資料の制作、編集を行った。

データ納品：令和2年5月14日 DVD納品：令和2年5月18日

○公共ホール音楽活性化支援事業（おんかつ支援）

公共ホール音楽活性化事業のフォローアップメニューとして、おんかつ事業実施ホールとOB・OGアーティストとの再マッチングにより、各地域でのおんかつ事業の継続を計る為の事業。令和2年度は（全国27地域）で実施した。おんかつ事業と同様に同財団からの受託事業として登録アーティストのプレゼンテーションを開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、プレゼンテーションの代わりに映像資料の作成を受託した。

※登録アーティストによる映像資料

当協会会員社所属の全99人（組）の登録アーティストのうち、66組94名による映像資料を作成した。

データ納品：令和2年8月18日

○公共ホール音楽活性化支援・文化庁連携事業（文化庁連携）

公共ホール音楽活性化支援事業の継続事業である本事業は、アウトリーチの実施部分を文化庁の支援、コンサート部分の支援を地域創造のスキームで実施し、今年度は全国5地域に当協会会員社所属の登録アーティストの派遣を行った。

○公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業（フォーラム）

都道府県等との共催により、親しみのあるクラシック演奏会と、アウトリーチ手法に関する研修会を開催する事業の長野県公演について、アーティスト三組を1年かけて派遣するマネジメント業務を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で来年度に延期となった。

4、情報収集発信事業（定款第4条第1号関係）

(1) クラシック音楽事業ガイドの発刊に向けた編集作業と広報誌の発刊

※クラシック音楽事業ガイド

隔年発刊のクラシック音楽事業ガイド2021-2022を、令和3年6月末日に発刊すべく、会員各位の協力を得て編集作業を行った。発行部数は前回より少なく1000部とした。内容を簡略化し協会及び会員社の紹介に特化する代わり、無償化し協会の広報に役立てる方針となった。

「クラシック音楽事業ガイド2021-2022」

発行予定 令和3年6月末日 1,000部（無料）

発行所 一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

編集 ガイド編集委員会 編集委員長 徳永英樹

※広報誌「ポンプ&クラシックス!」

広報誌「ポンプ&クラシックス!」については年間四回季刊として協会活動の報告や各種情報等を掲載し、併せて協会加盟会員を記載して発行した。又発行部数は各号 600 部とし、会員を始め官庁及び関係団体にも配布し、協会活動の広報の役割を担っている。

タイトル：広報誌「ポンプ&クラシックス!」/ 発行人:入山功一 / 編集人:徳永英樹

第 28 号=5 月末発行、第 29 号=9 月末発行、第 30 号=11 月末発行、第 31 号=2 月末発行

又、広報誌と連携し、協会からのメールニュース配信についても月次配信の定期ニュースの他、会員情報、事業関係情報、関係官庁・団体の情報等リアルタイムな情報発信を行っている。

尚、今年度のメール配信は新型コロナウイルスに関するもの（イベント開催規制、ガイドライン、各種助成金のお知らせ等）が 152 通、それ以外は 37 通で、特に新型コロナウイルス関係の情報発信に注力した年となった。

(2) JAPAN CLASSIC NAVI 〈ホームページの運営管理〉

協会のオフィシャルウェブサイトの運営については、従来の情報に加え、コロナ禍により設立されたクラシック音楽公演運営推進協議会によるガイドライン及び科学的検証の公式報告書等を掲載するほか、各種要望等の提出、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置等によるイベント開催制限の情報等を発信する事により年間で 54 万回を超える閲覧数となり開設以来のアクセス数となった。

- ・平成 25 年のサイト開設後から 7 年間の累計閲覧数 約 101 万回
- ・令和 2 年度単年の閲覧数 約 54.4 万回
- ・閲覧数上位の記事：9.71 万回 [報告書公表のお知らせ「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」] (令和 2 年 8 月 17 日)
- 3.28 万回 [「クラシック音楽公演における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」策定のお知らせ] (令和 2 年 6 月 12 日)
- 2.47 万回 [プレスリリース「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」について] (令和 2 年 6 月 22 日)

5、音楽文化振興事業（定款第 4 条第 2 項関係）

(1) 文化芸術推進フォーラム

当協会を始め、芸術文化関係団体 23 団体で構成する文化芸術推進フォーラムでは、文化芸術振興議員連盟（会長河村建夫元文科大臣）と共に、文化芸術が社会において果たしうる役割を十二分に発揮していくことを目指し、文化芸術基本法の理念の浸透、啓発を図り、文化芸術振興のための政策提言等の活動を行っている。尚、令和 2 年度は新型コロナウイルス対応として、以下の様々な活動や政策提言等を当協会も参画して実施した。

- 4 月 6 日 文化芸術振興議員連盟運営委員会、復興基金(仮称)の創設と緊急融資要望を文化庁へ提出
- 6 月 5 日 文化芸術推進フォーラム運営委員会
- 6 月 18 日 文化芸術振興議員連盟総会、文化芸術の停滞からの復興を提言
- 8 月 7 日 文化芸術への緊急支援の始動
- 9 月 1 日 文化芸術活動の継続支援事業の改善要望を全国会議員へ配布
- 9 月 10 日 緊急要望 劇場・ホール等における客席収容率の緩和要望を西村大臣へ提出
- 9 月 18 日 文化芸術活動の継続支援事業がより活用されるための改善要望を萩生田文科大臣へ提出
- 9 月 30 日 文化芸術振興議員連盟理事会
- 10 月 1 日 継続支援事業の改善と収益力強化事業の予算増額を文芸議連及び文化庁へ提出
- 10 月 15 日 文化芸術振興議員連盟役員会

11月18日 文化芸術振興議員連盟勉強会

1月5日 緊急事態宣言のイベント開催についての要望書を西村大臣へ提出

1月22日 緊急事態宣言によるイベント開催制限に伴う協力金支給要望書を西村大臣へ提出

2月9日 文化芸術振興議員連盟役員会

2月10日 「文化芸術緊急調査」の実施

2月12日 緊急事態宣言発令を受けて～深刻な打撃を受けた文化芸術への支援を 文芸議連へ提出

3月11日 公明党による文化芸術活動に関する支援ヒアリング（文化芸術推進フォーラム）

3月18日 文化芸術振興議員連盟勉強会

3月24日 文化芸術推進フォーラム運営委員会

(2) 日本音楽芸術マネジメント学会

日本音楽芸術マネジメント学会の活動については、役員を派遣する他、年二回の研究会の開催にも協力しており、クラシックコンサート界の人材育成・調査研究等について産学連携を構築している。

※第12回夏の研究会（各種分科会とシンポジウムのフル・オンライン開催）

分科会1 オーケストラ 7月27日（月）

分科会2 アーティスト 7月29日（水）

分科会3 劇場・音楽堂 8月4日（火）

シンポジウム「with/after コロナ時代を生きる～音楽で明日の社会をひらく為に」

令和2年8月9日（日）当協会の入山功一会長が分科会2及びシンポジウムに登壇して、コロナ禍のアーティストの置かれた状況や、当協会の取り組みについて各種報告を行なった。

※第13回冬の研究大会（各種分科会とシンポジウムのフル・オンライン開催）

シンポジウム「with/after コロナ時代の創造を考える-動画配信の試み」

令和3年2月13日（土）当協会の入山功一会長がシンポジウムのコメンテーターとして登壇

※文化庁長官宛て「新型コロナウイルス感染症拡大による舞台芸術分野への影響について」

令和2年4月16日要望書を提出。

6、国際交流事業（定款第4条第2項関係）

(1) FACP（アジア文化芸術交流促進連盟）2020、第38回年次総会〔台湾・高雄市〕の開催

2020のFACPの年次総会は、国際的な新型コロナ禍にあり、開催地の参加者以外は国際的なオンライン開催となった。

※第38回FACP2020年次総会 in 高雄市

テーマ ポストパンデミック時代の文化産業

会期 2020年11月13日（金）～15日（日） オンライン参加者 約50名

主催 FACP（Federation for Asian Cultural Promotion）

7、企業イベント制作事業（定款第4条第3項関係）

(1) 宝くじ文化事業

※宝くじドリーム館 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの制作

クラシック音楽を通じて宝くじの販売促進及び普及宣伝に向けた普及型コンサートを、東京・京橋にある宝くじドリーム館で年間11回、大阪・難波にある宝くじドリーム館で年間11回それぞれ開催し、近隣の地域住民や来館される宝くじファンとコンサートを通じたクラシック音楽普及活動を行なった。尚、緊急事態宣言により4・5・6月の開催は後期の日程に延期となりそれぞれ開催された他、東京都及び大阪府の会場定員制限により、東京は30名、大阪は20名の限定入場者での開催となった。東京の全11回の合計来場者数は約330人、大阪の全11回の合計来場者数は約220人。

宝くじドリーム館東京・大阪 ランチタイム/トワイライト クラシックコンサートの開催

東京ドリーム館は8月を除いて原則毎月第三水曜日の12:00ランチタイムに開催。
大阪ドリーム館は8月を除いて原則毎月第三木曜日の16:00トワイライトで開催。

[出演者の所属会員]

AMATI、アスペン、コンサートイマジネーション、ジャパン・アーツ、東京コンサーツ、二期会21、
日本オペラ振興会、パシフィック・コンサート・マネジメント、プレルーディオ、
プロアルテムジケ、ミリオンコンサート協会 他

尚、出演者の選定については、宝くじと言う公益性を重視して、公共ホール音楽活性化事業の登録アーティストを中心に選出している。

※年末ジャンボ宝くじ抽せん会アトラクションの制作

年末ジャンボ宝くじでは12月31日の抽せん会後のアトラクションにて昨年に引き続きクラシックコンサートが実施される事となり、当協会が公演制作の全てを受託したが、新型コロナウイルス感染症の第3波による感染者の急増を受け、抽選会については無観客開催となり、それに伴いコンサートも無観客開催となった。

12月31日(木) 抽せん会 10:30 開場/11:00 開始 (アトラクション 14:00 開始)

東京オペラシティコンサートホール

[出演者の所属会員] AMATI、ジャパン・アーツ、日本オペラ振興会

II 会議等の開催、委員会の報告、会員数の状況、その他の概況（令和2年度）

1、会議等の開催、委員会の報告

○総会

定時会員総会 6月11日(木) 14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ルーチェ

○理事会

第1回定例理事会 5月22日(金) 書面審議による「みなし決議」

第2回定例理事会 10月8日(木) 14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント

第3回定例理事会 1月14日(木) 14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント

第4回定例理事会 3月31日(木) 14時00分 東京・品川区 ホテルマイステイズ五反田駅前ヴェント

○執行役員会（会長・副会長・専務理事・常任理事）

第1回執行役員会 6月11日(木) 12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

第2回執行役員会 3月31日(木) 12時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○統括執行役員会（会長・専務理事・常任理事）

第1回統括役員会 12月22日(木) 14時00分 東京・品川区 協会事務局会議室

○マネジメント部会

クラシック音楽普及事業の(1)(3)、に記載の活動を推進している他、コロナ禍における公演活動の再開に向け、公演主催者との契約形態の在り方について会員外の公演主催団体と協議を行った。又、公演主催者がアーティストのPCR検査陰性証明の請求に対する対応の協議や、チケットの払い戻しを求めるお客様対応等について継続的に協議を行う他、アーティストの出入国緩和の要望を取りまとめる等の協議を行った。

○ホール部会

音楽関連人材育成事業の(2)、クラシック音楽普及事業の(2)に記載の活動を推進している他、マネジメント部会と共通の課題について意見交換を実施する他、公演会場における発熱者等の現場対応について公演

主催者と継続的な協議を実施している。

○教育・創造部会

音楽文化振興事業の(2)、に記載の活動を推進している。

○メディア部会

情報収集発信事業の(2)に記載の活動を推進している。

○オペラ部会

加盟会員のオペラ4団体と連携し、声楽及び合唱公演の活動再開に向けて科学的検証への参画及び、ガイドラインの改定に向けて継続的に意見交換を行った。

○関西地区連絡協議会

関西地区会員はコロナ禍の現状と課題を共有し、今後の対策を協議する為に今年度の計1回の協議会を開催した。

開催日：6月29日(月)15:00～ ザ・シンフォニーホール会議室

2、会員・役員の移動状況報告

令和2年度の会員数

	令和2年4月1日	令和3年4月1日	増減
正会員A	6	6	0
正会員B	29	28	-1
正会員C	13	13	0
賛助会員	45	47	+2
名誉会員	0	0	0

入会者：正会員C＝株式会社カモシタピアノ

賛助会員＝株式会社光藍社、東京芸術劇場、株式会社音楽之友社

退会者：正会員B＝株式会社音楽之友社

正会員C＝株式会社新演

賛助会員＝読売新聞東京本社文化事業部

令和2年度の役職員数

	令和2年4月1日	令和3年4月1日	増減
理事	17	17	0
監事	2	2	0
顧問	3	3	0
参与	2	2	0
職員	2(役員兼務1名含む)	2(役員兼務1名含む)	0

理事定数14名以上18名以内、監事2名又は3名、顧問・参与各4名以内

3、クラシック音楽の普及、関係団体との連携・協力に向けた活動

(1) 関係団体との連携・協力

- ・チケット適正流通協議会に加盟して活動を推進している。
- ・全国中小企業団体中央会(経済産業省・中小企業庁関係組織)に加盟して活動を推進している。
- ・文化芸術推進フォーラムに加盟して文化芸術の振興に向けた活動に協力している。

- ・音楽産業文化振興財団に加盟して事業を推進する他、善積参与を評議員として派遣している。
- ・子ども達と芸術家の出会い街ネットワークの構成団体として参画する他、丹羽常任理事を監事として派遣し事業に協力している。
- ・パシフィックミュージックフェスティバル組織委員会の顧問に入山会長が就任し活動を推進している。
- ・仙台国際音楽コンクール組織委員会の委員に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。
- ・日本音楽芸術マネジメント学会の理事に丹羽常任理事が就任し活動を推進している。

(2) 後援名義等の許可状況

令和2年度は以下の7事業について当協会として名義後援を行った。

申請者:ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2020 運営委員会 事業名:ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2020

申請者:一般社団法人全日本ピアノ指導者協会

事業名:第44回ピティナ・ピアノコンペティション特級セミファイナル・ファイナル

申請者:公益財団法人ロームミュージックファンデーション 事業名:スカラシップコンサート

申請者:公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名:仙台クラシックフェスティバル2020

申請者:公益財団法人仙台市市民文化事業団 事業名:クラシックエール仙台(仮)

申請者:株式会社ザ・シンフォニーホール 事業名:年越しスペシャルオールスター関西オペラ歌合戦

申請者:一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 事業名:ショパンの日

(3) 文化庁令和2年度「文化芸術活動の継続支援事業」確認番号発行事務業務

文化庁の令和2年度「文化芸術活動の継続支援事業」の申請条件である事前確認の手続きの円滑な実施に協力するため、同事業費補助金における事前確認番号発行団体として文化庁より推薦・認定を受け、正会員または賛助会員の所属の実演家又は技術・舞台スタッフ等であり、当該事業の申請条件を満たす方に対し「確認番号」を付与した。

実施時期 令和2年7月～12月

付与件数 108件

申請件数 88件

交付決定数 83件

(4) 文化庁 アートキャラバン事業への準備

政府の緊急経済対策として文化庁令和2年度の第三次補正予算による、統括団体が行う大規模かつ質の高い文化芸術を核としたアートキャラバン事業へ応募する為、協会内に公募による運営委員会を設置し、会員各位からアーティストを募り「クラシック音楽が世界をつなぐ」と題して、全国13都市計19公演のクラシックキャラバン事業を令和3年度の実施に向けて準備中である。尚、この事業は当協会加盟のマネジメント、ホール、演奏団体、所属アーティスト、舞台スタッフ等から、旅行・印刷会社等の参画を得て、協会の総力を結集して実施する事業として現在文化庁に申請している。

運営委員会開催日:2月25日(木)、3月9日(火)、3月30日(火)

4、この法人の目的に適う事業

新型コロナウイルス感染症への対応と対策に向けた活動

当協会と公益社団法人日本オーケストラ連盟、公益社団法人日本演奏連盟他とクラシック音楽公演運営推進協議会を組織し、事務局を当協会内に設置して以下の諸活動を関係諸団体と連携して対応している。

- ・ガイドラインを策定し、エビデンスに基づく改定業務
- ・飛沫飛散の科学的検証の実施と提言
- ・緊急事態宣言、まん延防止等重点措置によるイベント制限に関わる規制内容の周知
- ・イベント開催制限の緩和要望
- ・芸術団体や事業者の損失補填や協力金及び補償金の要望、実演家の所得補償要望
- ・入出国制限の緩和要望 他

〈運営推進協議会による会議等〉

- 5月14日 ガイドライン策定に向けた第1回ヒアリング
- 5月19日 ガイドライン策定に向けた第2回ヒアリング
- 7月21日 科学的検証の文化庁申請第1回会議
- 8月20日 科学的検証の文化庁申請第2回会議
- 9月15日 今後の公演再開に向けた全体会議

(1) 主な活動報告

- 4月6日 文化芸術推進フォーラム総会/文化芸術振興議員連盟運営委員会
- 4月6日 チケット適正流通協議会（コロナ対応協議）
- 5月25日 ガイドライン案とロードマップ案について、会員へ意見聴取
- 6月5日 文化芸術推進フォーラム運営委員会
- 6月8日 文化庁訪問（補正予算に関する協議）
- 6月11日 クラシック音楽公演ガイドライン策定（翌12日公表）
- 6月11日-12日 [クラシック音楽公演運営推進協議会後援事業]
COVID-19（新型コロナウイルス感染症）影響下における公演再開に備えた試演
- 6月22日 「コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」リリース発表
- 6月24日 クラシック音楽公演の入国制限緩和に関する意見交換会
- 7月6日 文化庁 継続支援事業事務説明会（統括団体認定番号発行について）
- 7月11日-13日 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト「器楽・客席検証実験」
- 7月20日 クラシック音楽公演ガイドライン改定案について、会員へ意見聴取
- 8月17日 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト「器楽・客席」報告書公開
- 9月10日 収容率50%制限の撤廃要望書提出（コロナ対策担当大臣宛）
- 9月15日 日本オーケストラ連盟とのコロナ対策役員緊急懇談会
- 9月18日 クラシック音楽公演ガイドライン改定（収容率100%許容）
- 9月24日 文化庁コロナ対策補正予算の運用見直し検討会
- 9月26日-27日 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト「声楽・合唱検証実験」
- 9月30日 文化芸術振興議員連盟理事会（コロナ対策補正予算の運用見直し要望）
- 10月7日 クラシック音楽公演運営推進協議会 統括団体事務局会議
- 10月15日 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト「器楽・客席」速報版報告書を政府へ提出
- 10月随時 「GoTo イベント」キャンペーンについて会員へ情報提供
- 11月6日 クラシック音楽公演の入国制限緩和に関する意見交換会
- 12月1日 クラシック音楽公演ガイドライン改定（合唱公演開催可能へ）
- 12月1日 政府へアーティストの入国緩和要望書提出
- 12月11日 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト「声楽・合唱」報告書公開
- 1月5日 緊急事態宣言下のイベント開催について国へ要望書を提出
- 1月8日 緊急事態宣言に伴うクラシック音楽公演の規制について公表
- 1月13日 緊急事態宣言に伴うクラシック音楽公演の規制について改定
- 1月22日 緊急事態宣言によるイベント開催制限に伴う協力金支給要望書を提出
- 2月4日 緊急事態宣言の延長に伴うクラシック音楽公演の規制について改定公表
- 2月10日 文化芸術緊急調査の実施
- 2月10日 まん延防止等重点措置に対する緊急要望書を提出
- 2月27日 緊急事態宣言の終了に伴うクラシック公演の規制について公表
- 3月1日 東京都へ20時以降の終演許容の要望書を提出
- 3月5日 中部・関西地区の緊急事態宣言終了に伴うクラシック音楽公演の規制について公表
- 3月19日 1都3県の緊急事態宣言終了に伴うクラシック公演の規制について公表
- 3月25日 ガイドライン声楽・管楽器の客席との距離2M緩和要望

3月26日 緊急事態宣言解除後の文化芸術関係事業に参加する実演家等の入国に関する
14日間代替措置の内部公表

(2) 科学的検証 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト

～クラシック音楽演奏会・音楽活動を安心して実施できる環境づくり～

文化庁令和2年度文化芸術活動の継続支援事業 [クラシック音楽公演運営推進協議会による共同申請]

【器楽・客席における検証】

期日 7月11日(土)12日(日)13日(月) 計三日間

会場 新日本空調株式会社 技術開発研究所 (実験環境: 高浄度実験室<クリーンルーム>)

専門家: 林 淑朗 亀田総合病院 集中治療科部長、集中治療専門医
宮内 博幸 産業医科大学 作業環境計測制御学 教授
上原 由紀 感染症専門医
具 芳明 感染症専門医
塚田 訓久 感染症専門医
縣 智香子 東京都看護協会 新型コロナ対策プロジェクト アドバイザー
NTT 東日本関東病院 感染対策推進室 感染管理認定看護師

演奏家: サックス 須川展也、彦坂眞一郎、神保佳祐 /
チューバ 近藤陽一、池田幸広、次田心平 /
ヴァイオリン 松田拓之、宮川奈々 / チェロ 村井将、藤森亮一 /
フルート 神田寛明、満丸彬人、丸田悠太 /
クラリネット 山根孝司、大浦綾子、林裕子 /
トランペット 安藤友樹、本間千也、林辰則 /
トロンボーン 今村岳志、加藤直明、池上亘 /
ユーフォonium 池上亘、岩黒綾乃、齋藤充 /
ホルン 福川伸陽、安土真弓、堀 風翔 / オーボエ 寺島陽介、和久井仁、宮村和宏
ファゴット 市原靖生、福井弘康、森田格 / ヴァイオリン 山岡柚里 /
チェロ 新井康之 / ソプラノ 塚原紫 / テノール 中村誠宏
ソプラノ 松崎ささら / テノール 志村一繁 (敬称略、実験順)

検証報告書: 8月17日公表

主催: クラシック音楽公演運営推進協議会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会

協力: (株)ヤマハミュージックジャパン、NHK、NHK交響楽団

【声楽・合唱における検証】

期日 9月26日(土)、27日(日) 計二日間

会場 新日本空調株式会社 技術開発研究所 (実験環境: 高浄度実験室<クリーンルーム>)

専門家: 林 淑朗 亀田総合病院 集中治療科部長、集中治療専門医
宮内 博幸 産業医科大学 作業環境計測制御学 教授
上原 由紀 感染症専門医
具 芳明 感染症専門医
塚田 訓久 感染症専門医
加藤 英明 横浜市立大学付属病院 感染制御部 部長
津田 洋子 帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 医学博士
岩井 裕美、仮屋 茜、峰 政貴、津田 裕子 (帝京大学)

声楽家: ソプラノ 岩本留美、肥沼諒子、塚村 紫、和田しほり
テノール 大木太郎、中川誠宏、根木秀雄、櫻田 亮
オブザーバー 三澤洋史、富平恭平 (敬称略、実験順)

検証報告書: 12月11日公表

主催: クラシック音楽公演運営推進協議会 協力: (公財) 新国立劇場運営財団、NHK

(3) 内閣官房イベント制限会議への参画

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室による屋内イベントの開催の在り方に関する検討会にガイドライン策定団体として参画し、観客側と出演者側の双方における感染対策の在り方等を踏まえ公演活動の再開に向けて意見を具申した。

開催日程：6月19日（金）、6月30日（火）

(4) 文化庁設置感染症対策アドバイザリーボードへの参画

新型コロナウイルス感染症対策の推進による文化芸術活動の継続・発展に関するアドバイザリーボードに参画し、公演活動の再開に向け、ガイドライン策定団体としての意見を具申し、専門家の知見を踏まえてリスクを最小限に留めたいうでの活動再開に向けた協議を行なった。

開催日程：2月1日（月）、2月15日（月） 提言公表：2月19日（金）

(5) 文化芸術緊急調査の実施（文化芸術推進フォーラムからの委託調査）

文化芸術推進フォーラムからの委託により「クラシック音楽公演に関する新型コロナウイルス感染症の影響調査」を実施した。統括団体として当協会の会員社に関わる公演総数や観客動員数、売上規模等を明らかにし、業界としての基盤と信頼を固め、クラシック音楽の社会的な認知と、我々の業界の活動や役割を明確にしてゆく方針である。

〈調査結果の概要〉

- ・総公演回数は前年度対比で主催公演 42%減少、主催以外の売り公演等 47%減少
- ・観客動員数は前年度対比で主催公演のみで 70%減少
- ・事業収入では前年度対比で主催公演のみで 52%減少、主催以外で 65%減少

(6) 科学的検証の普及活動及び協議会活動のメディア対応

科学的検証 #コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクトの検証報告を踏まえ、公演活動や合唱吹奏楽等クラブ活動の再開に向けた講演依頼について入山会長が対応して検証結果の普及活動を行う他、様々なメディアからの取材依頼にも対応し、業界のコロナ禍における取り組みを紹介し、クラシック音楽の実演家、芸術団体、事業者の社会的認識の理解促進と普及に向けた取り組みを行った。

11月9日 茨城県公立文化施設協議会 会場：茨城県立県民文化センター会議室

管理研修会「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」検証結果に関する講演

11月16日 埼玉県高等学校音楽教育研究会 会場：越谷サンシティホール

「#コロナ下の音楽文化を前に進めるプロジェクト」検証結果に関する講演

1月31日 会場：栃木県総合文化センター

レクチャー「新型コロナウイルス禍での『新しい生活様式』による音楽活動の在り方」

～コロナに負けない！「新しい生活様式」で愉しむコンサート～「錦織健 テノール・リサイタル」

(7) クラシック音楽公演運営推進協議会の事務局団体窓口業務

協議会として、策定公表したガイドラインや、科学的検証の報告書公表、政府による緊急事態宣言や、まん延防止等重点措置等におけるクラシック音楽公演の開催制限等の各種問い合わせ窓口として、全国の地方団体、全国のホール、アマチュア団体、クラシック音楽ファン、医療関係者等からの相談や苦情の窓口として対応し、クラシック音楽業界の統一窓口としての機能を果たしている。